

特別活動で集団づくりを！

名古屋市特別活動研究会委員長
関川俊之



最近、「どうやって学級をまとめていけば…」といった集団づくりに関する悩みを多く聞くようになりました。「よりよい学級づくりをしていきたい」と願っている教師の率直な思いであると思います。

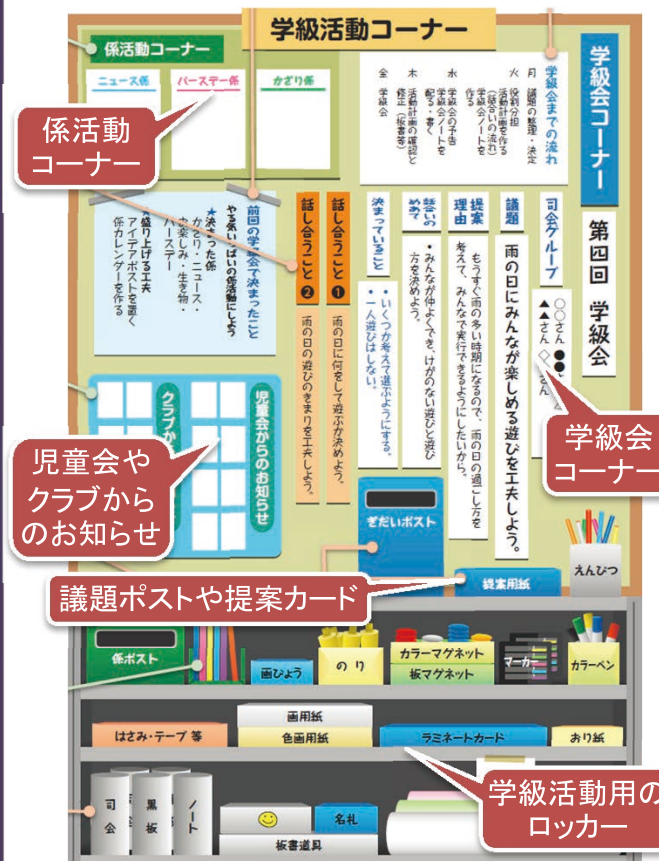
このような先生方にぜひ活用していただきたいのは、昨年秋に全市で実施された「ハイパーQ.U」です。「ハイパーQ.U」は、児童生徒一人一人や学級集団の状態を理解する上で、とても分かりやすい資料です。多くの先生方は、ハイパーQ.Uの診断結果を見て、日頃から支援をしている児童生徒と一致していると思われたのではないのでしょうか。ただ、「あれ？この子が？」と、首をかしげてしまう児童生徒も中にはいたと思います。

このような児童生徒に対しても、集会活動や係活動、学校行事といった特別活動にある様々な集団づくりの活動が大変有効です。

特別活動の様々な活動で、集団に馴染めない児童や孤立しがちな児童に、有用感や所属感を味わわせてください。本研究会では、全市の先生方の参考になるようなよりよい実践に取り組んでいきたいと思ひます。ぜひ、特別活動研究会の研修会にご参加ください。

必見！「学級活動コーナー」を作ってみませんか？

いつもの教室を一工夫して、自発的・自治的活動を活性化させましょう！



【参考資料】国立教育政策研究所 教育課程研究センター
「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動」

ようこそ！ 特活研究会へ ～研究協議会～

1月21日(火)に、名古屋市特別活動研究協議会が行われました。実践発表の後、指導室指導主事の中越敏文先生と教育センター指導主事の塩澤ちかげ先生に指導・助言をいただきました。当日発表された実践内容の一部を紹介しします。詳しくは、学校に配布された黄色の冊子の発表要項をご覧ください。

【実践①】～福田小 佐々井 恵里先生の思い～

主体的に取り組むことができる子を育てたい

対象：6年生

しかし、実態は…

「恥ずかしい」「勇気がでない」という理由から、なかなか自分から行動することができない児童が多い。

そこで工夫！

- 主体的に取り組むことの大切さを考える学級会の設定。
- 学級目標の達成を目指して設定した自己目標をもって行動する経験の積み重ね。
- 学校行事の成功に向けた取り組みにも、これまで積み重ねた経験を発揮。



みんなと一緒に私も頑張ろう！

友達と支え合いながら
全力で練習する児童

【実践②】～八幡小 福島 克先生の思い～

代表委員会と全校児童のつながいを大切にしたい

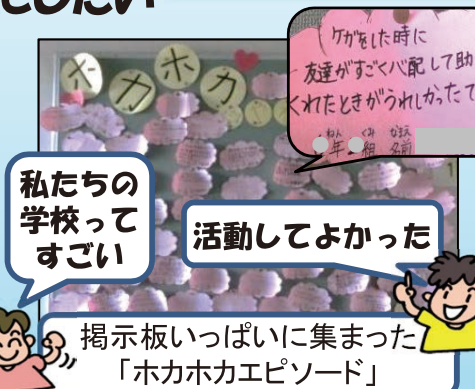
対象：代表委員会

しかし、実態は…

活動が代表委員会だけの視点で考えられていて、他の児童は決定事項に従って活動するだけ…。

そこで工夫！

- 掲示板や投票箱・投票用紙を活用（全校児童との意見交流）。
- 全校児童とタッチする「タッチあいさつ運動」を実施。
- 「ホカホカエピソード」を募集・掲示。



私たちの学校ってすごい

活動してよかった

掲示板いっぱい集まった「ホカホカエピソード」

研修部の一年

研修部では、特別活動について勉強する会を開催しています。日頃、特別活動を指導する上で困ったことなどを、話合って解決したり、互いの実践を検討し合ったりする機会を設け、自己啓発に努めています。

特別活動を学び合おうⅠ（6月）

参加者が希望する内容により「話し合い活動」「児童会活動」「係活動」のグループに分かれ、各々の実践をもとに参加者同士で質問したり、アドバイスし合ったりしました。話し合い中



- ・教師の助言の在り方
 - ・子どもが進んで話し合いに参加するための工夫
 - ・活動を学級から学年・学校へ広げていくための方法
- について議論が交わされ、様々な視点で考えを深めることができました。

学級活動実技研修会（8月）

実際に行われた学級会のビデオを見て、話し合いの進め方を学んだり、中部地区の先生の実践提案から意見交換をしたりしました。愛知教育大学の高綱睦美先生をお招きして「キャリア教育」について講演していただきました。

特別活動を学び合おうⅡ（9月）

特別活動に詳しい先生が「コーディネーター」として、「児童会・生徒会活動」「学校行事」のねらいや内容について説明しました。その後、各校の情報交換をしたり、コーディネーターから具体的なアドバイスをもったりしました。



「あいさつ運動を活性化させるためのアイデアをいただき、さっそく実践したい」という声も寄せられました。

特別活動を学び合おうⅢ（11月）

係活動の所属決定や振り返りでの子どもたちの様子を映したビデオを視聴し、意見交換を行いました。



視聴後は、コーディネーターを中心に係活動と当番活動の違いや子どもたちの意欲を高め継続するための方法など、係活動を進めるためのポイントについて、熱心な意見交換が行われました。